

バランシンと白のバレエ

—〈アポロ〉〈セレナーデ〉を中心に—

山田奈緒

[研究目的]

バランシン (George Balanchine, 1904-1983) は舞踊における物語的 (narrative) な要素を抑え、音楽に合わせた身体の美しさを追求した振付家である。彼の振付スタイルの形成には、物語の筋書きを持たず、古典的なバレエの技法を用いた身体の動きから成る「白のバレエ」¹⁾ が関わっているように思われる。そこで本研究では、彼の振付スタイルを解く鍵として、白のバレエとの関係から考察することを目的とする。

[研究方法]

バランシンの初期の作品〈アポロ〉(Apollon Musagète, 1928) 〈セレナーデ〉(Serenade, 1934) と他の振付家による白のバレエ作品のVTR、先行研究、文献等を参考にし、振付スタイルの特質について考察する。また、バランシンと30年間に及ぶコラボレーションを行った作曲家ストラヴィンスキーの自伝と音楽論 *Poetics of Music* 等を手掛かりにしながら、振付スタイルの形成について探る。

[研究結果及び考察]

1 白のバレエとその理念

白のバレエは、ロマンティックバレエの時代に起源を持つが、その踊りは古典的なバレエの技法に基づき、音楽に合わせた身体の動きそのものを見せる傾向にあった。プティパ (Marius Petipa, 1818-1910) はバレエの技法を高度に発展させることにより、白のバレエの形式化を進めた。バランシンはこれを加速して密度の濃いものにし、その技法を強調する形式主義²⁾ の立場を採ったと思われる。

2 音楽との関係

ストラヴィンスキー (Igor Stravinsky, 1882-1971) は〈アポロ〉の作曲に際し、舞踊の本質は色彩や装飾を排除し、クラシック・バレエの技法から成る厳格な形式を持つ白のバレエによって明らかになると考えていた。彼の音楽は、音と沈黙、瞬間と持続という二つの対立契機の関連づけを基に、音と音との間を遮断し、音素材の堆積による静的ダイナミズム (dynamic calm)³⁾ から構成される。バランシンは彼の音楽に従いながら、クラシック・バレエの技法の組み合わせによる動きと動きの間のつながりを断つスタッカート・スタイル⁴⁾ を採用することにより、作品の抽象性を高めていったと考えられる。

3 〈アポロ×セレナーデ〉—pointeworkの考察—

バランシンの白のバレエは身体の動きが、空間

における立体的な構図、身体の明確な輪郭といった純粋な形式を表すためになされる意味合いが強い。またプティパのクラシック・バレエの技法の崩し方が、バランシンの振付スタイルを特徴づけていると考えられる。そこで本研究では初期の作品〈アポロ〉〈セレナーデ〉について、主として女性の pointework (ポワントを履いた脚の使い方) に焦点を当てて考察を行った⁵⁾。ポワントはロマンティック・バレエの時代には空中に浮いているような効果を出すために用いられ、またプティパの時代にはクラシックのテクニックやポーズの明快さを保ち、提示する意味合いが強く、いずれも「点」としての用い方が主流であった。これに対し、〈アポロ〉〈セレナーデ〉に特徴的なのは、まず第一に、膝を伸ばしたパ・ド・ブレ、前へのグラン・バットマンといった垂直なラインを強調することによって時間を細分化するようなステップである。第二には、群舞が上体を斜めに傾けたアラベスクやピケによって空間を加速しながら水平に切り込んでいくような動きである。また第三に、螺旋状に脚を下ろす回転、重心をずらして斜めに倒れ込むオフ・バランスのステップといった空間に3次元的な曲線を描くステップである。さらにこれらは、音楽のリズムに従ってその速度や強度が決定されるように思われる。このことから、バランシンは音楽と緊密に関係し、時間や空間を分節化しながら舞踊のダイナミズムを形成していったと考えられる。

[註]

1 「白のバレエ」とは本来、「白いチュールのスカートを身につけて踊る、古典的なスタイルのバレエ」(Koegler, Horst. 1977. *The Concise Oxford Dictionary of Ballet*, Oxford: Oxford University Press) を指すが、本研究では白いチュールのスカートの限定せず、物語の筋書きを持たず、クラシック・バレエの技法を用いた身体の動きを見せる作品を意味する。

2 Levin, D. M. 1973. "Balanchine's Formalism" *What is Dance?*, Oxford: Oxford University Press.

3 Stravinsky, Igor. 1942. *Poetics of Music*, Harvard University Press.

4 スタッカート・スタイルという言葉は、Mkarova, Natalia. 1980. *A Dance Autobiography by Natalia Makarova*, London: Adam and Charles Black. から引用した。

5 バランシンの pointework については Schorer, Suki. 1995. "Balanchine Pointework" *Studies in Dance History* No. 11, New York: Society of Dance History Scholars. を参考にした。